

令和3年2月1日

学校関係者評価報告書

東海医療工学専門学校
学校関係者評価委員会

学校法人セムイ学園東海医療工学専門学校 学校関係者評価委員会は「令和元年学校自己評価表」の結果に基づいて学校関係者評価を実施しましたので、下記のとおり報告します。

「学校関係者評価」の実施方法について

学校関係者評価は、文部科学省が策定した「専修学校における学校評価ガイドライン」を踏まえた評価項目に沿って実施し、学校関係者評価委員に評価していただきました。学校自己評価表（令和元年度版）と併せてご覧ください。

I 令和2年度 学校関係者評価委員会 開催概要

1. 日 時

令和2年9月26日（土） 11:00～12:30

2. 会 場

東海医療工学専門学校

3. 議 事

- (1) 令和元年度 学校関係者評価の対応状況
- (2) 令和元年度 自己評価結果について
- (3) 関係者評価委員による評価の実施と公表について
- (4) 意見交換

II 学校関係者評価委員、学校担当者

(1) 委 員

構 成	氏名	所 属
学識経験者	野々垣 常正	東海歯科医療専門学校
病院・施設	竹内 亮太	岡崎市民病院
卒業生	鎌倉 朋史	学校法人セムイ学園

(2) 担当教職員一覧

氏名	所属・職名
小足 信雄	学校法人セムイ学園 理事長 東海医療工学専門学校 校長
侘美 好昭	東海医療工学専門学校 顧問
太田 晃二	学校法人セムイ学園 総務部長
大野 健二	救急救命科 学科長
柴尾 隆行	救急救命科 専任教員
廣崎 英和	救急救命科 専任教員
石河 康司	救急救命科 専任教員
大竹 宗也	救急救命科 専任教員
平松 善子	東海医療工学専門学校 教学部教務・学生支援課サブチーフ

Ⅲ 学校関係者評価委員による意見、提言等

基準1 教育理念・目的・育成人材像

救急救命士育成のための教育理念・目的、教育方針や育成人物像は明確にされている。東海医療工学専門学校 救急救命科における「3つのポリシー」をホームページ等で提示するなど、学内外に広く周知もされている。今後も継続して、入学を希望・検討する学生や教職員・在校生に周知してほしい。

基準2 学校運営

- ・教職員が閲覧可能になっていることは大いに評価できる。職場の内容がわかってよい。
- ・協議の中に、中・長期的な計画を提示し、それに向かった一年の進捗状況を報告・協議することが良いと思われる。
- ・経営会議のメンバーだけではなく、教員も理解できるように、専用 ID で教員にも理解が出来るように良いと思われる。
- ・情報公開はネット社会においては「見える化」が重要なので、今後も積極的に取り組まれることを希望する。

基準3 教育活動

時代のニーズに応じて、教育カリキュラムの変更が適切に行われ、教育活動に反映されている。授業評価の実施・評価体制については、学生からのアンケート方法を再検討し、より授業改善に反映されるようにしていただきたい。

基準4 学修成果

救急救命士の国家試験合格率は、全国平均をわずかに下回るものの、入学生に対する国家試験の受験率は全国的にも極めて高い成果を修めている。入学生に対する受験率の高さは、本校の学修成果であり、今後も適切な教育のもとに維持していただきたい。

基準5 学生支援

就職サポートに関しては公務員対策の講義や面接練習をしており、サポートができています。国家試験対策も一人一人の質問に対して分かりやすく解説している。国試対策講義で解答解説を行えなかった箇所資料、他文献の資料をはいふしたほうが学生も学習しやすい。

基準6 教育環境

教育機器・資器材の購入や修繕の検討・予算化がされ、適宜必要な備品が整備されている。今後も学生のニーズに応じた教育環境の整備や救急救命士育成のための資器材を整備し、教育環境の充実に努めてほしい。

また、救急救命士養成校として、「災害」に対する認識も高く、防災備蓄品も適切に整備されている。今後も継続して対策を講じてほしい。

基準7 学生募集

ホームページが見やすく国家試験合格率も3年間のものを載せていることで学校の合格率のイメージが持ててよい感じと思う。

今回はコロナの影響でZOOMを使ったオープンキャンパスを行っていたが、コロナに関わらず遠方の人向けにこれからも使っていったほうが良いと思う。

授業風景やシミュレーションの写真などface bookだけでなく、

基準8 財 務

設備機器に関しては、耐用年数等があるので、定期的な資料に基づきチェックを行い、部品の提供がなくなる前に予備を揃えておくことが長期の安定に繋がると考えます。ただし、機器も日進月歩なので、新しい機器の導入にも積極的検討が必要と思います。

基準9 法令等の遵守

- ・コンプライアンスの徹底には、医療で行われている SOAP における plan に対する見直しも必要でフィードバックを絶えず行うことが必要と思います。
- ・個人情報大きな社会問題なので、「自宅に持って行かない」などの徹底をはかることが 必要です。そのためには、さらに IT 化をかかり、より学生に関わる時間を確保することが大切と思います。

基準10 社会貢献

去年は台風やコロナの影響で何回かイベントが無くなったが、災害ボランティアなど、実際に消防の隊活動を見学でき勉強になるため、これからも行ったほうが良い。

実際に、BLSなその資料作成をし、授業の一環として地域の人に教えるという授業を行うといいと思う。

以上、評価委員より示された提言等については、所管部署において、改善策を検討するものとする。